

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（11月末現在）

令和6年(2024年)1月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

1 調査の趣旨

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため

2 調査対象校 《計1,543校》

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校

- ・小学校762校（義務教育学校前期課程含む）
- ・中学校469校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む）
- ・高等学校246校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制含む）
- ・特別支援学校66校

3 調査対象期間

令和5年（2023年）4月～令和5年（2023年）11月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対応状況				5. いじめの認知件数がない学校数
		2. 解消件数	3. 解消に向けて取組中の件数		4. その他	
		・ 心理的、物理的的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過している。 ・ 心身の苦痛を感じていない。	・ 心理的、物理的的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間(3か月程度)経過していない。	・ 心理的、物理的的行為が止んでいない。 ・ 心理的、物理的的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過しているが、心身の苦痛を感じている。		
令和5年度 第3回 (4月～11月)	32,351	16,155 (49.9%)	16,035 (49.6%)	141 (0.4%)	20 (0.06%)	307 (19.9%)
小学校	26,678	13,191 (49.4%)	13,391 (50.2%)	85 (0.3%)	11 (0.04%)	106 (13.9%)
中学校	4,613	2,472 (53.6%)	2,098 (45.5%)	38 (0.8%)	5 (0.1%)	83 (17.7%)
高等学校	922	424 (46.0%)	476 (51.6%)	18 (2.0%)	4 (0.4%)	70 (28.5%)
特別支援	138	68 (49.3%)	70 (50.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	48 (72.7%)

※（ ）は、認知したいじめの件数及び学校数に対する割合